

令和6年度九州老人福祉施設職員研究大会（宮崎大会）研究部会

研究発表に関する審査基準

標記大会の研究部会における研究発表は、九州各県の老人福祉施設関係者が現場実践における成果や課題を提言し、それを多くの職員が共有することによって、介護現場の発展に資することを目的としています。

研究部会では以下の審査基準を設け、それぞれの発表を審査します。

審査の結果、特に優秀であると認められた発表については、九社連老人福祉施設協議会が表彰を行い、11月21日・22日に滋賀県で開催予定の第3回全国老人福祉施設大会・研究会議へ推薦します。

1 表彰内容

- ・優秀賞（1発表） 賞状、賞金3万円
- ・奨励賞（2発表） 賞状、賞金1万円

2 審査体制

区分	人数	役割
運営委員長	1名	研究部会の総括
座長	1名	研究部会の進行
運営委員	1名	運営委員長及び座長の補佐
参加者	—	研究部会の審査投票

3 研究部会スケジュール

- 9：30～ 9：40 あいさつ・審査説明
- 9：40～ 9：55 発表1
- 9：57～10：12 発表2（入替時間含）
- 10：14～10：29 発表3（入替時間含）
- 10：29～10：39 発表1～3への質疑応答
- 10：39～10：50 休憩
- 10：50～11：05 発表4（入替時間含）
- 11：07～11：22 発表5（入替時間含）
- 11：24～11：39 発表6（入替時間含）
- 11：39～11：50 発表4～6への質疑応答
- 11：50～12：00 採点・投票
- 12：00～12：05 集計
- 12：05～12：15 審査結果発表・表彰

4 審査基準

以下の基準に従い、企画力・発表力・応用力・独自性等の観点から50点満点で採点します。

● 企画力(発表以前の取り組みの評価)《15点満点》

発表に関する取り組みが高齢者福祉・介護のニーズを捉えたものであったか。

また、抄録原稿が論旨明快かつ簡潔なものであったか。

1	発表に関する取り組みが高齢者福祉・介護の真のニーズを捉えているか。 数量・数値・言語によって視覚的に把握できる内容であったか。 理論や根拠に基づき、科学的介護の実践や介護の標準化に資する内容であったか。 (5点)
2	キーワードを効果的に利用していたか。 取り組みと関係の深いキーワード(3つ)が抄録原稿に記載されているか。 キーワードは本文の内容に鑑みて適切か。(5点)
3	抄録原稿は、必要な情報を網羅し、かつ、分かりやすい内容であったか。(5点)

● 発表力(発表自体の評価)《15点満点》

発表内容と資料は、視聴者にとって簡潔で、かつ、明確なものであったか。

4	発表内容は、適切であったか。 声の大きさ、速さなどが適切で、ポイントを押さえた説明をしていたか。(5点)
5	発表資料(スライド)は、見やすいものであったか。 図表、イラスト、箇条書きなどを効果的に活用していたか。(5点)
6	抄録原稿の内容と統一されていたか。 抄録原稿と発表内容が統一されており、補完的なものとなっていたか。(5点)

● 応用力(視聴者に対する貢献性の評価)《10点満点》

施設・事業所の規模・地域性、法人性等の違いを超えた普遍的なものであり、視聴者が現場実践に活かせる内容であったか。

7	視聴者に自分の施設で実践したいと思わせるような内容であったか。(5点)
8	施設・事業所の規模等に左右されずに、発表内容を実践することが可能であるか。 (5点)

● 発表の独創性、先見性《10点満点》

他に例を見ないオリジナリティが認められるか、また、高齢者福祉・介護分野の将来を見通した内容であったか。

● 発表時間(15分間)の超過・不足に関する減点

発表時間が17分00秒を超過した場合、または発表時間が13分00秒に満たない場合には、合計点から5点を減点してください。

<参考> 大会2日目に研究部会毎に参加者へお配りします。

令和6年度九州老人福祉施設職員研究大会（宮崎大会）研究部会 研究発表 審査票

1 審査員情報

(1) 研究部会

第●研究部会

※ 研究部会番号を選択

(2) 県・市名

福岡県・北九州市・福岡市・佐賀県・長崎県

※ 自身の所属する老施協を選択

熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

2 審査方法

全ての発表について、審査基準を基に点数（5点満点の場合、1～5点）を御記入いただき、合計得点を計算してください。

審査項目【点数：満点】	研究部会 発表番号					
	1	2	3	4	5	6
※審査結果を入力する発表番号に点数を記入						
(1) 企画力①（発表に関する取り組み）【5点】						
(2) 企画力②（キーワード）【5点】						
(3) 企画力③（抄録原稿）【5点】						
(4) 発表力①（発表内容の適切性）【5点】						
(5) 発表力②（発表資料）【5点】						
(6) 発表力③（抄録原稿との統一性）【5点】						
(7) 応用力①（実践したいと思わせる内容）【5点】						
(8) 応用力②（発表内容の実践の可能性）【5点】						
(9) 発表の独創性・先見性【10点】						
(10) 発表時間の超過・不足【-5点】						
【 合計得点：50点満点 】						

3 審査報告

「2 審査結果」による合計得点について、研究部会審査用：二次元バーコードを読み取り、合計得点の一番高い発表者を選択の上、送信してください。

※ 合計得点が同点の場合は、その中で一番優秀と判断した**発表者1名**を選出してください。

※ 二次元バーコードを読み取れない方は、別紙「審査票」に御記入の上、御提出ください。

二次元
バーコード

4 審査結果

集計結果をもとに、獲得票の多い順に優秀賞（1名）、奨励賞（2名）を決定します。

なお、同点の場合は、運営委員長、運営委員、座長による協議により決定します。